

広報

お祭り

NO. 476
平成10年4月10日



気持ちを一つにして
目指せ ゴール！



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き

— 4月1日現在 —

男	4,204 (- 38)
女	4,273 (- 32)
計	8,477 (- 70)
世帯数	2,254 (- 6)

() は前月比較

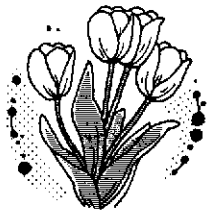
議会報告

三月二日から始まった第二回川西町議会定例会は、二十四日全日程を終え閉会しました。

四日、町長の施政方針と新年度予算の提案説明があり、以後、各常任委員会の調査を経て、平成十年度川西町一般会計予算と六つの特別会計、一つの事業会計が成立しました。

また、川西町課設置条例の一部を改正する条例ほか四件の条例一部改正を原案どおり可決、続いて平成九年度川西町一般会計補正予算（第八号）を原案どおり可決しました。

さらに、所管の常任委員会に付託となっていた、移動通信中継施設設置の請願を不採択としました。南雲町長の平成十年度施政方針から、その概要を紹介します。



平成十年度は、平成十七年度を目標年度にした「第五次川西町総合開発計画」の第三年次となります。総合開発計画では、まちづくりの基本方向を「快適な暮らしの中に、安らぎと感動のあるまちづくり」と定めております。町民の皆様八、六〇〇人一人ひとりが快適な環境の中で安心して生活でき、楽しさと感動に満ちた町にしたいとするものであります。

私はその実現に向け、町民の皆様から率直なご意見を聞かせていただきながら、激変する現代社会の流れを注視しながら、町政の執行に全力を尽くす所存であります。

以下、総合開発計画で示す六つの柱に沿って主要な施策の概要をご説明申し上げます。

夢を育む人づくり

間近に迫った二十一世紀には少子高齢化、国際化、情報化という特徴をもった社会が到来いたします。激動する社会の中で、家族のきずなや地域の連帯を持った自立的な地域社会を築いていくためには、何よりも心豊かで創造性あふれる人づくりが必要とされております。

しかしながら、社会が病んでいくとしても申しましょうか、子供たちにナイフを使用した殺傷事件などセンセーショナルな事件が続発しており、また、川西町においても不登校の児童生徒の割合が国や

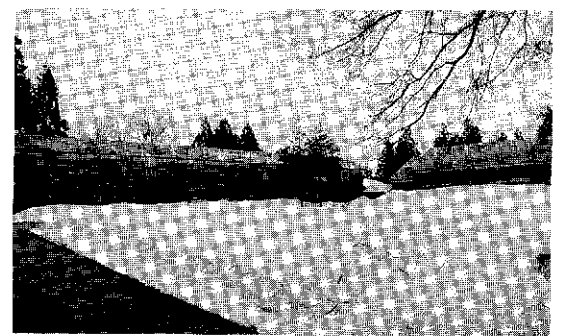
県のレベルに比べ大変高い数値になっており、子供たちが直面する問題は極めて深刻であると認識し、大人としての責務を痛感するものであります。人づくりにも根本的な部分での対応が議論され、そして大人の責務として行動しなければならぬと考えるものです。

町内小中学校では、心の教育の一環として「あいさつ運動」を展開しています。しかし、これを学校内の運動に止めてはなりません。社会や家庭の中で、子供と心を通わせる、お年寄りと心を通わせるものとして家族ぐるみ、地域ぐるみで、この運動に積極的に参加していただきたいと考えております。

また、不登校対策を強化するため、新規に心理学の専門知識を持つスクールカウンセラーを配置し、「心の談話室」などにより相談、指導、助言をしていただく予定となっております。

生涯スポーツ推進事業としては、橋地区の旧ハリマヤ工場跡地を活用し、ゲートボール場を整備いたします。屋外コート四面の外に、冬期間も使える屋内コート一面を整備するもので、ゲートボール愛好者にとっては長年待ち望んだ専用施設であります。完成の暁には、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、他市町村の人たちとの交流の場として活用が期待されます。

また、新規事業として、中国黒龍江省との卓球交流事業を開始いたします。



橋地区にある旧ハリマヤ工場

たします。中国から指導者の招致と町内生徒の中国派遣交流を予定しております。お招きする指導者は、六か月間ずつ二人を予定しており、最初においていただくのは、黒龍江省体育学校卓球コーチの王さんという方で、中国全国大会で二位という競技歴をお持ちであります。このようなトップレベルの人から卓球指導を受けられるということは、県下でも有力な川西町の卓球競技力がワンランクアップするものと期待しておりますし、指導を受け、競技力向上に真剣な気持ちで努力している姿は、他の生徒にも良い影響を与えるものと考えております。

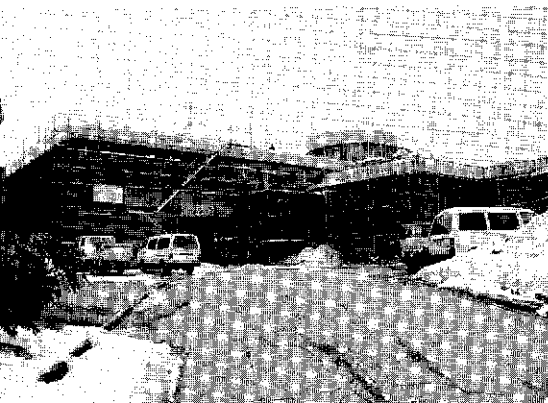
また、生徒の中国派遣交流については、既存の国際交流補助制度を活用し、夏休みに七人程度の参加を予定しており、国際化時代にあって高い教育的効果があるものと考えております。

健康で安心して暮らせる地域づくり

町の本年二月一日現在の六十五歳以上人口率は、二六・一割で、昨年に比べ〇・八ポイントの増加であります。人口の三分の一は高齢者という社会が到来することを念頭に、高齢者が健康で安心して暮らせる「高齢者の視点」を大切にした行政執行をしたいと考えております。

さて、昨年末に介護保険法が成立し、いよいよ平成十二年四月から公的介護保険制度がスタートすることになりました。待ったなしで介護基盤の整備が求められております。このため、社会福祉法人あかね会が建設する十五人定員のデイサービスセンターと、十床増床するショートステイ施設増設事業に所要額を補助するとともに、隣接する既存の町有デイサービスセンターも大規模改造を図り、使いたい良い施設に再整備いたします。以上の事業により、介護基盤の容量として、デイサービスが十五人から三十人に、ショートステイが八人から十八人に倍増することになります。

以上の施設整備は、介護を必要とする状態になった人のためのものであり、私は、高齢者の皆様の幸せは、できるだけ寝たきりにならない、できるだけ長く自立した生活を続けることにあると考えま



平成9年度から実施しているなかまの家増築工事

す。高齢者ご自身が健康に注意し、ゲートボールなど適宜な運動を行い、友達とおしゃべり、温泉に入って疲れを癒すというような生活が大切ではないかと思えます。しかしながら、体力が衰えたり、腰痛やひざが痛んだりしてきますと、ゲートボールなどの運動ができなくなります。

このため、できるだけ寝たきりにならないよう、水中で浮力を得ながら、且つ水の抵抗を受けながらの運動により、骨に負担なく筋力が付けられる、高齢者用の温泉プールの整備を計画しております。本年度は、建設場所の選定、運営方法の研究、実施設計を予定しております。

障害者対策としては、平成9年度から、なかまの家の増築及び大規模改造工事を実施しており、本年六月をめどに完成の予定であります。この工事により、なかまの

家の入所定員は六十人から七十五人に増え、新規にショートステイ八人分が加わり、さらに体育館も併設となります。

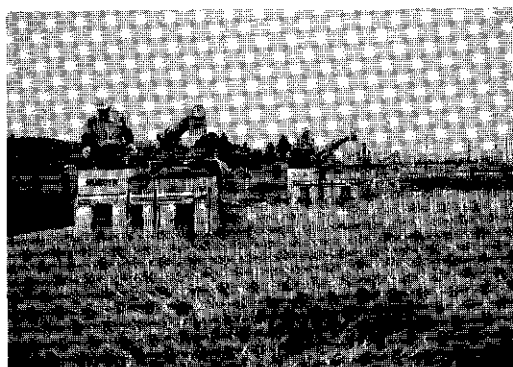
少子化対策としては、子供を産み育てられる環境づくりの一貫として、従来と同様に、保育料を三〇〇程度軽減いたします。幼児医療費助成事業については、年齢枠の一歳引き上げ、所得制限枠の撤廃というように、制度を拡充いたします。

さて、公的介護保険の実施などを控え、その準備を始め、今後の福祉業務が増大する見込みにあります。そのため現在の住民課を二分割し、四月から、戸籍や保健などを受け持つ住民課と、福祉専門の福祉課に組織再編いたします。

働く喜びにあふれる産業づくり

本年度の農業政策の重点は、全国的な米余り現象のなかで強化された減反への対応と考えております。転作率が二四割にもならないと、昨年より八十一割増えた二百六十四もの面積を減反しなければならぬことは、個々の農家経営ばかりでなく、生産者団体であるJA新潟川西にとっても経営再建のかかわりの中で、極めて深刻な事態であると考えられるのであります。町全体としても少なからぬ影響が懸念されるところであります。

コンバインで稲刈りに精を出す生産組合員



このような基本認識のもと、国の示した「緊急年度調整推進対策」に対応し、基本的転作助成制度であります「米需給安定対策」に加えて入促進することを中心とした「川西町生産調整実施方針」を確立いたしました。これによって、関係各位のご理解ご協力のもと、かつてない難局を町一丸となって乗り越えたいと考えているものであります。

さて、農業の国際化の中で、わが国の農業情勢は変動の勢いを強めており、国では農業基本法の改正などにより日本の食料自給、農業農村の在り方について新たな方向性を打ち出そうとしております。

このような状況の中、新たに町農業の構造転換を図っていくため、既存の組織経営体の再編統合や法人化の促進にとどまらず、昨年実施した農地流動化の意向調査をも

とに、個別経営体への農地集積も鋭意促進し、経営強化を図りたいと考えております。

また、新たな展開として、五年間で十億円の事業費を投入する仙田地域総合整備事業を本格開始いたします。この事業の趣旨は、仙田地域の豊かな自然生態系や農村文化を活用、再整備し、都市との交流資源として魅力あるものにするとともに、地域住民の生活利便性の向上にも資しようというものであります。

県営事業関係では、長福寺ダムが平成十年度に堤体保護工など、十一年度には試験湛水の予定となります。松葉沢ダムについては全体実施設計となり、早期完成を目指して国県への働きかけを推進いたします。

造林関係の新規町単事業として、民有林の保育管理を支援する民有林整備推進補助事業を開始いたします。これは、木材価格の低迷などにより、特に民有林の管理が放置され、森林の荒廃が目立ってきていることから、国土保全や水源涵養など森林の持つ公益的機能に着目し支援するものであります。

快適で美しい環境づくり

地球温暖化、座礁タンカーによる海洋汚染、酸性雨、オゾン層の破壊、ダイオキシン、環境ホルモンと、この地球環境をおびやかす

問題が連日のように報道されております。このかけがえのない地球環境を守り子孫に引き継ぐことは私たちの重要な責務であり、地球人として「地球規模で考え地域から行動」しなければなりません。もつと故郷地球を大切に、平和を維持するとともに、環境保全にも注意を払わなければなりません。昨年四月に「川西町快適で美しい環境づくり条例」が施行されました。自然環境やエネルギー資源を大切に、環境への負荷の少ない循環型社会を築いていくことに、町民の皆様各位のご協力をいただきたいとお願ひ申し上げる次第であります。

さて、川西町は長年、下水道事業を最重点事業として実施してまいりましたが、いよいよ最終的局面となりました。

農業集落排水事業については、仙田地区が国道改良工事の進展から計画に遅れが出ております。しかし、残事業費一億円余りとなり、平成十二年度の完成を見込んでおります。元町新町地区については、元町の管路工事を行い、面整備的には平成十年度の完成となります。

また、千手地区の特環公共下水道事業につきましても、残すところは稲条の一部と鶴吉だけとなっております。平成十年度の完成となります。

以上の、集落排水及び特環公共下水道の外に、合併浄化槽処理も

含めると、平成十年度末の町全体の下水供用可能率は九七割の見込みとなります。一〇〇割に向け事業推進したいと考えておりますので、今後とも町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、下水処理場の維持管理については、将来を展望するに、町の直接管理より民間委託化のメリットの方が大きいと判断し、四月から元町新町地区処理場を除く五施設について民間委託に切り替えます。

次に都市計画事業であります。豪雪地にあつて、また今日の車社会にあつて、広い街路があることは、「住みやすいまち」としての活力を育てる基礎条件ではないかと考え、千手地区に土地区画整理事業の導入について調査を進めてまいりました。合わせて、今次総合開発計画で発案された賑わい空間創出事業についても、用地の確保や財源手当的な面から、一体的事業推進が望ましいのではないかと考えていたところであります。

しかしながら、土地区画整理事業については、住民説明会の状況やアンケート結果から、十年あるいは二十年という長期間に渡る事業であることや、減歩方式であることが、関係住民の皆様のコンセンサスを得にくいものとしていることがわかりました。このため、土地区画整理事業については、「街路拡幅」という当初目的を達成す

るため、どのような活用の方がいいのか、開発エリアの見直し、方法など、原点に返って再検討しなければならぬ問題と考えております。

このようなことから、緊急に進めなければならない賑わい空間創出事業とは実施テンポに相違が生じるため、土地区画整理事業と賑わい空間創出事業は、完全分離したなかで、それぞれの事業を考えたいと思います。

次に、道路交通対策においては、平成十年度の町道整備は、改良三路線、舗装一路線、維持補修九路線を予定しており、所要の事業費を計上いたしました。公共事業費について国県の支援が細まる中、今後の道路整備は、維持修繕は別として、地域開発関連を重点としてと考えております。



霜条地内の特環公共下水道管路工事

楽しさ広がる

ふるさとづくり

過疎地にとって一番の活力となるのは「賑わいの場」を造ることです。町民全体の宝であり、年間十万人の利用のある千手温泉を核とした賑わい空間創出事業を積極的に推進したいと思っております。昨年の商工会案との擦り合わせの結果を基に、平成十年度は、有機的に連携された文化施設、温泉施設、商業施設などの整備について、

事業内容、事業規模、経営形態など基本的な計画策定を進めます。また、関係住民の皆様のご理解とご協力が得られるべく、関係諸団体と行政が一体となりながら事業推進を図り、可能な限り用地取得への手がかりをつかみたいと考えております。機が熟した折りへの予算的対応のため、本年度は、まちおこし基金に一億円の資金を積み立ていたします。

次に、十日町地域広域六市町村が一体的に推進しているニューにいがた里創プラン事業であります。この事業は、「アート」をキーワードにして、六市町村それぞれが持つ特性を活用しての地域開発により、圏域全体として特色と魅力あるまちづくりを行い、交流人口、定住人口の拡大を図っていこうというものであります。

平成十年度の川西町における事業としては、①この地域の美しさ



里創プランの「越後妻有8万人のステキ発見」事業に向け、住民代表等が活動を開始しはじめています

開かれた自主的

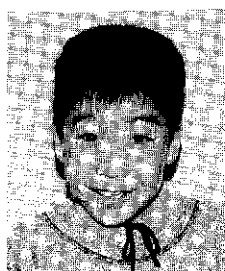
行政の推進

地方分権については国での議論が進んでおり、機関委任事務の廃止や権限移譲などを盛り込んだ地方分権推進計画が、平成十年度の早い時期に策定される見込みであり、いよいよ本格的実施の段階に入っております。

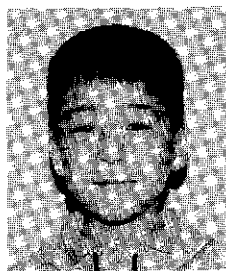
合わせまして、行政改革の指針であります「行政改革大綱」につきましても、社会経済情勢の変化に合わせた見直しが求められております。見直しに当たっては、改革を担保するため、改革の数値目標の設定と公表、実施計画の策定をポイントに行いたいと思っております。

将来の情報公開に備えた取り組みとしましては、役場裏の桜木駐車場に車庫書庫棟が完成したことにより、文書保存の一元化が図られることとなりました。本年度は、新しい文書管理システムであるボックスファインディング方式を本格的に実施いたします。

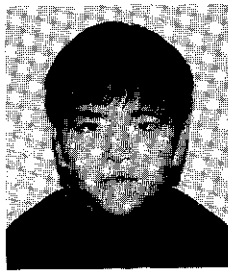
OA機器による情報化対策としましては、巨大な情報基盤となっているインターネットへの接続を図り、合わせて川西町の情報発信のためホームページを開設いたします。また、各課を結ぶパソコンネットワークを構築し、業務の効率化を図ります。



① 丸山 文央
② 東善寺
③ 力



① 丸山 允央
② 東善寺
③ 力



① 青木 拓
② 東善寺
③ 英明



① 片桐 知美
② 発電所通り東
③ 秀幸

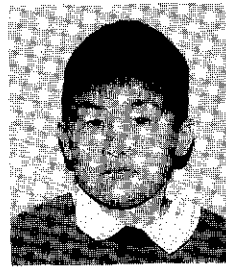
千手小学校
32人



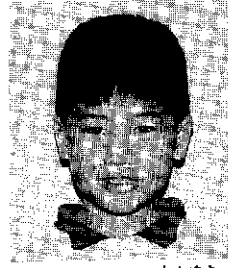
4月6日、町内の各小学校で、入学式が実施されました。今年の1年生は、4校合わせて70人（男子32人、女子38人）です。各小学校の1年生を紹介します。敬称略、順不同①氏名②住所③保護者名



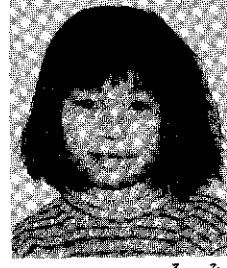
① 高橋 梢
② 寺尾
③ 栄助



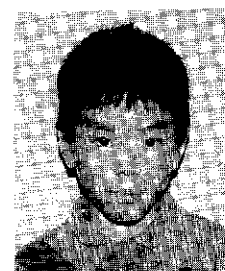
① 数藤 巧
② 沖立
③ 勝夫



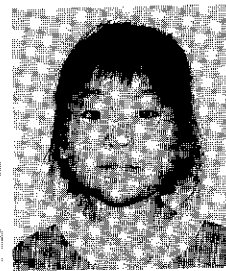
① 川崎 孝幸
② 中島町
③ 好雄



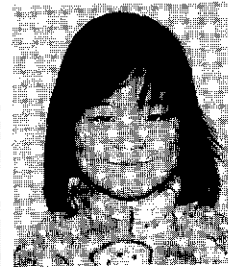
① 田中 瑠美
② 中島町
③ 啓二



① 高橋 大輝
② 神社町
③ 勇



① 押木 あゆみ
② 発電所通り西
③ 浩



① 柄沢 郁恵
② 沖立
③ 幸弘



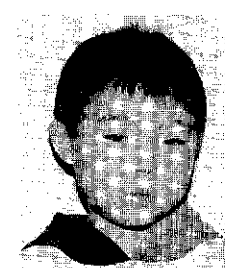
① 押木 友裕
② 栄町
③ 昇



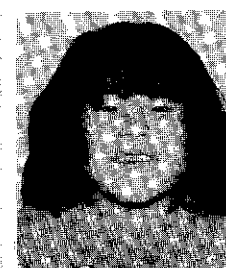
① 平野 遥
② 四郎兼
③ 一幸



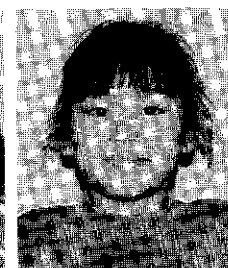
① 星名 洋紀
② 沖立
③ 洋一



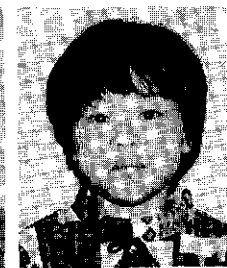
① 茂野 俊
② 高原田
③ 文男



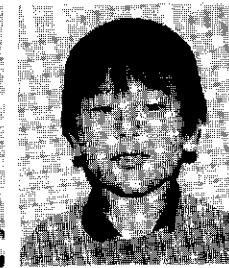
① 尾身 幸奈
② 発電所通り西
③ 光弘



① 数藤 若菜
② 沖立
③ 清智



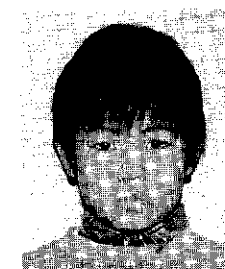
① 柄沢 沙織
② 沖立
③ 好浩



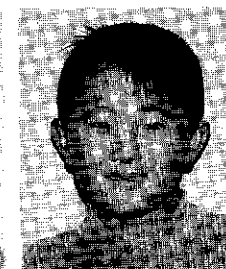
① 小野塚 大祐
② 鉄道アパート
③ 正道



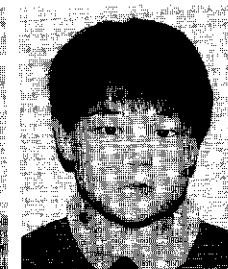
① 星名 美咲
② 沖立
③ 育男



① 阿部 直朗
② 木島
③ 謙一



① 田村 友明
② 霜条
③ 豊



① 丸山 直純
② 木島
③ 安夫



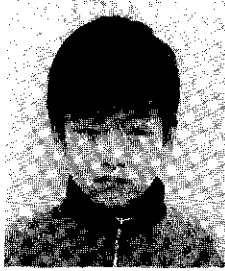
① 中村 恵利
② 坪山
③ 公一



① 丸山 夏織
② 霜条
③ 博



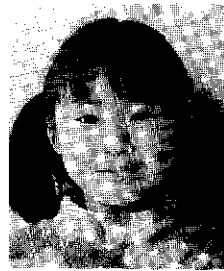
① 引間 美里
② 坪山
③ 春男



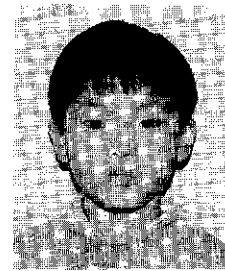
① 田 辺 貴 大
② 南台
③ 克之



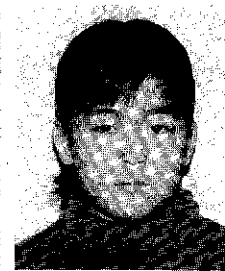
① 高 橋 桃 香
② 発電所通り東
③ 幸一



① 喜 多 悠 莉
② 東善寺
③ 秀一



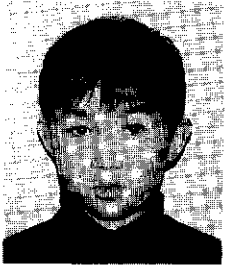
① 丸 山 廉 太
② 東善寺
③ 芳弘



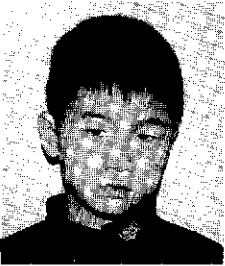
① 高 橋 皆 美
② 伊友
③ 武



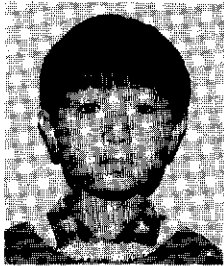
① 高 橋 新 次 郎
② 高原田
③ 和夫



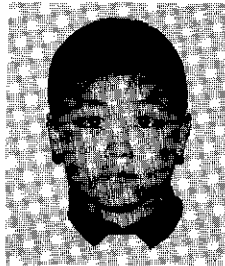
① 清 水 真 古 人
② 上野
③ 賢司



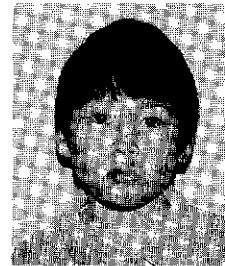
① 根 津 元
② 上野
③ 敬一郎



① 富 井 淳
② 上野
③ 敏

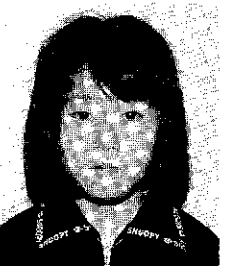


① 水 品 和 也
② 新町新田
③ 成良



① 鈴 木 暖 基
② 新町新田
③ 準一

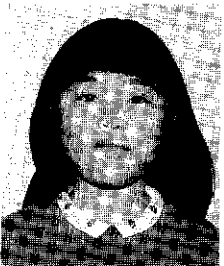
上野小学校
13人



① 丸 山 瑠 衣 子
② 新町新田
③ 正樹



① 井 川 理 恵
② 新町新田
③ 一弘



① 高 橋 智 子
② 三預
③ 昇



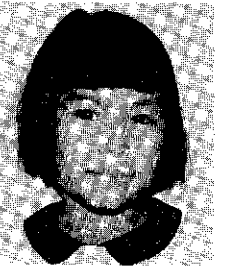
① 入 沢 ち あ き
② 上野
③ 昇



① 南 雲 唯
② 上野
③ 勝



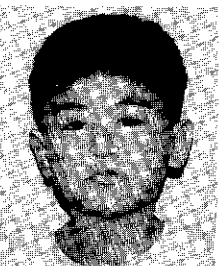
① 押 木 舞
② 元町
③ 正



① 須 藤 智 美
② 仁田
③ 哲也



① 和 久 井 稚 子
② 木落
③ 昇



① 山 口 翔 太
② 仁田
③ 武夫

橘
小学校
20人



① 高 橋 莉 子
② 小根岸
③ 大



① 小 海 彩 乃
② 小根岸
③ 博



① 小 幡 貴 秀
② 仁田
③ 秀次郎



① 山 家 恵
② 木落
③ 四郎



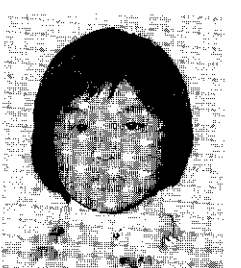
① 田 口 詩 織
② 木落
③ 秀樹



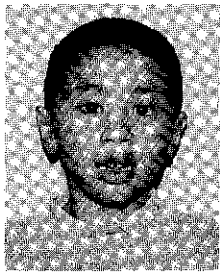
① 和 久 井 美 穂
② 木落
③ 秀昭



① 村 越 裕 太 郎
② 野口
③ 浩明



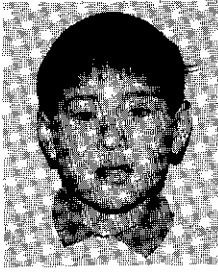
① 藤 卷 彩 佳
② 塩辛
③ 義明



① 根津 大輔
② 原田
③ 栄一



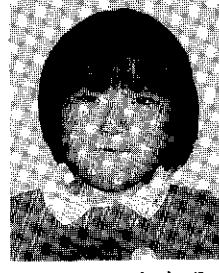
① 田口 美幸
② 木落
③ 一美



① 高津 達也
② 塩辛
③ 正則



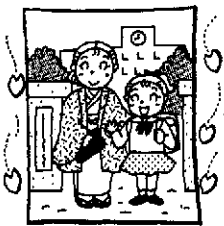
① 村越 真弓
② 野口
③ 益男



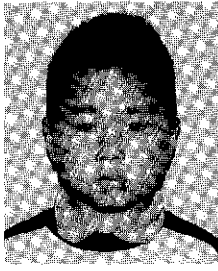
① 羽鳥 友起子
② 木落
③ 賢太郎



① 江口 愛美
② 小白倉
③ 正志



① 野沢 みずき
② 野口
③ 富昭



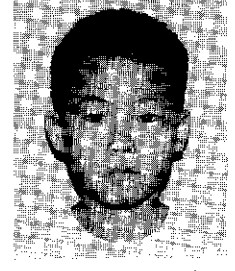
① 滋野 健人
② 野口
③ 大介



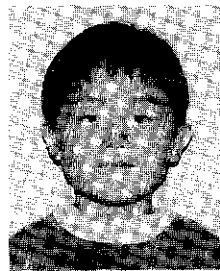
① 片桐 沙弥香
② 小白倉
③ 司



① 丸山 沙織
② 根深
③ 昭男



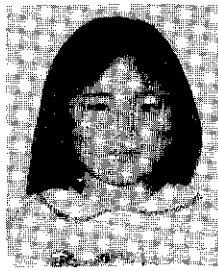
① 野沢 明人
② 野口
③ 岩男



① 小林 一輝
② 中仙田
③ 寅一



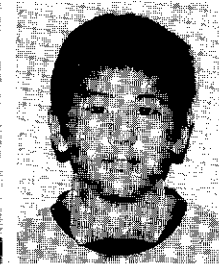
① 中條 貴志
② 岩瀬
③ 一芳



① 川崎 有甘
② 室島
③ 弘明

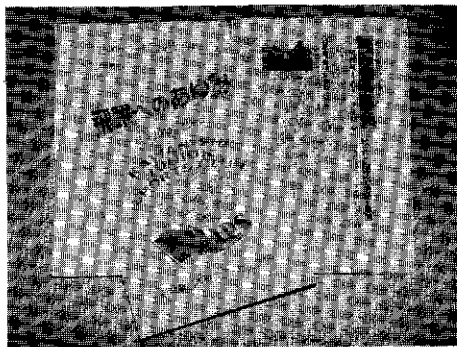


① 中條 将志
② 岩瀬
③ 裕基



① 押木 雄太
② 中仙田
③ 強

仙田小学校
5人



町スポーツ少年団は、昭和五十三年六月に産声をあげ、平成九年度で二十周年を迎え、記念誌「飛躍へのあゆみ」を発刊し

スポーツ記念誌をお分けします

ました。この記念誌には小史、加入団員の文集、日独同時交流、各種大会戦歴、歴代指導者名簿のほか、統計的な資料なども掲載しており、様々な角度から二十年を振り返ることが出来ます。

講入を希望される方は、教育委員会内スポーツ少年団事務局（六八―二二六七）までお申し込み（問い合わせ）ください。

・体裁 B5版 一六〇ページ
・価格 一冊七〇〇円
・郵送の場合 一、一〇〇円（送料四〇〇円含む）を事務局へ送付してください。



去年の山菜まつりのようす

5月4日は山菜まつりへ

山の恵を味わう会として人気の高い「仙田山菜まつり」。山菜取り体験や山菜料理のフルコースなど、今年も盛り沢山でお待ちしています。

詳しくは、同まつりのチラシをご覧ください。

◆期 日 5月4日（月）
◆参加費 3,000円
◆会 場 仙田小学校体育館及び仙田地域の山野

ごみを捨てたあなた

ごみの投げ捨て、空き缶のホイ捨て……、ごみの不法投棄は、通行する者に不快感を与え、環境保全上の支障の原因を作っています。町でも監視を強化し、これらの未然防止の対策を実施してきました。しかし、不法投棄は、道路の脇にも、山林や河川敷といった人目につかない所にも、相も変わらず続けられているのが現状となっています。

四月に入れば、今まで閉鎖されていた道路も通行可能となり、山菜取りや散歩を楽しむため、町内外の人たちが、町のいたる所を訪れる機会が多くなります。まず、そこに住んでいる私たち自身がマナーを示すことから始めてみませんか……。

町では、昨年四月に環境の保全について自覚を持ち、清潔で美しいまちづくりを目指そうというこ

● 良心も捨てていませんか！

とで「川西町快適で美しい環境づくり条例」を制定しました。その中で、次のように定めています。

町の役割は

緑豊かで、潤いと安らぎのある環境を確保し、これを良好な状態で将来の世代に継承することができよう、環境の保全について必要な施策を策定します。

事業者の役割は

その事業活動に伴って生じる公害などの防止のため必要な措置を講じ、環境への負荷の低減に努めます。

町民等の役割は

町民等（町民、旅行者、滞在者をいう。）は、町が実施する環境施策に協力し、環境の保全に自ら進んで努めます。

その他の定め

・町民等は、道路、河川、水路、公園、広場及びその他公共の用に供する場所並びに他人の所有、占用又は管理する場所に、みだりに空き缶・空き瓶などの包装容器、たばこの吸い殻、チューインガムのかみかす及びその他の廃棄物を捨ててはいけません。

・容器に収納する飲料水を自動販売機により販売する者は、空き缶その他の廃棄物が散乱しないよう回収容器を設置し、適正な管理をします。

・土地及び建物の所有者、占有者、管理者は、当該土地及び建物を適正に管理し、生活環境の美化

及び清潔の保持に努めます。

・町民等は、犬及びその他の動物を飼養する場合は、それらのふんが公共の場所などを汚さないよう努めます。

不法投棄に思う

ごみ不法投棄監視員（Kさん）

ごみ不法投棄監視員になって三年。毎年、四月から十一月の間、月に二、三回ほどの監視をしてきました。個人が何げなくポイと投げ捨てた空き缶……、こんな形で捨てられたであろう空き缶が、巡回をみてなんと多いことか、改めて感じたところです。

巡回するコースで一番ひどかった不法投棄は、子供のおもちや、古新聞、古雑誌といった家庭内のごみで、衛生施設組合のごみ収集に出せる物ばかりでした。「手間をかければ出せるごみなのに」と思いました。

不法投棄をしている現場には会うことはありませんでしたが、三年間でひどい不法投棄は三、四か所ほど見つかりました。やはり、山道が多く、人気の少ないところが多いようでした。中には手紙、領収書など、名前の入ったものもあり、そのゴミが見つかったときは、捨てた本人がごみを全て回収させられるばかりでなく、さらに罰金となります。「見つかなければいい」ではなく、「捨てたなら罰金」と思っしてほしいのです。

これからも、町がきれいであるために、私たち町民の一人ひとりがごみに関心を持ち、もっと環境保全に努めてほしいと思います。

ごみの不法投棄、放置の一扫を

町民の声（Tさん）

雪消えとともに、湿った大地から顔を出す小さなフキノトウに春の訪れを感じ、ウドやアサツキなど、春の味覚を心待ちにする季節になりました。また、山ではブナのつぼみから始まり、一斉に芽吹く樹木に目をうばわれる感動の時期を迎えます。この豊かな自然を大切にしていますか？

雪が消えはじめてくると、あちこちにポイ捨ての缶やごみの散乱が見られます。放置された自転車や農機コンバインなどが目につきます。また、道路の脇ばかりでなく、山の中までも缶やビニール袋など、投げ捨てられています。これでは、せっかくの春の喜びが半減してしまいます。

ごみの始末、あるいは不用品の処理には手間も費用もかかります。このことを現実として各家庭でも考え、また、社会の仕組みとしてもこのごみの処理について、もっと積極的に機能するように取り組んでいかねばならないと思います。

不法に投棄されない、放置物のない、町民一人ひとりマナーを守る、住みよい環境であるよう心から願う者です。

地域活性プロジェクト 支援事業募集中

自ら行う地域づくりを応援(助成)します



H9年度に実施された国道を美しくする事業
(中仙田)

町では、町内の各種団体やグループがそれぞれの地域の特性・資源などを活用して行う、個性的で魅力ある地域づくり事業に対して「地域活性プロジェクト支援事業」として助成し、住民自ら行う地域づくりを推進しています。

昨年は、七事業を支援し、助成金総額は一四万五千元でした。助成対象事業内容は下記のとおりです。あなたの地域でも積極的にご利用ください。

予算などの関係もありますので、早目に申請してください。なお、申請多数の場合には、予算の範囲内で、補助金や補助率を調整する場合もありますのでご了承ください。

地域活性プロジェクト支援事業とは

★事業実施団体などの範囲

地域づくりを目的に組織された構成員5人以上のグループや、各集落、PTA、老人会、青年会、芸能保存会などの団体を助成対象とします。

★事業採択の基準

- ①地域固有の歴史、文化、景観、産業、その他の特性及び資源を活用し、又は新たに創造することにより、地域の魅力と活力の向上を図る事業であること。
- ②補助対象事業費(補助対象となる事業経費の合計)が10万円以上の事業であること。
- ③団体などが自ら行う事業であって、原則として単年度で完了する事業であること。
- ④宗教行事や宗教的色彩の強い祭具・備品(みこしなど)は対象外であること。
- ⑤国・県及び町の他の補助金、負担金などを受けて実施する事業は、原則として対象外であること。

★補助対象となる事業経費

助成対象となる事業経費は、主に設計管理などの委託費、工事請負費、備品購入費、消耗品費、印刷製本費、会場・物品などの借用料、会議茶業代、講師謝礼金、通信運搬費、物品製作費、調査・研究などの旅費、原材料費などです。

★補助率などの基準

- ①補助率は補助対象事業費(補助対象事業費の合計)の60パーセント以内。(特例として町が必要と認めた事業は80パーセント以内まで認める)
- ②補助金交付限度額はハード事業で200万円まで(特例は265万円)、ソフト事業で50万円まで(特例は65万円)までとする。

★たとえばこんな事業が対象に

- ①ハード事業の一例
 - ・ショウブ園の造成や集会所周辺に花壇を設置するなど、花いっぱい事業。
 - ・けやき、イチョウ、桜などの街路樹を植え、美しい景観をつくる事業。
 - ・夏季イベントでの雪活用事業。(雪保存場所の整備や保存シートの購入)
 - ・集落の入り口に、集落をPRする人看板を設置する事業。
- ②ソフト事業の一例
 - ・村づくり基本計画策定事業。(意識調査・解析・計画樹立など)
 - ・手作りの川西のど自慢大会の企画実行。
 - ・かぐらなど地域の伝統芸能を復活させる事業。
 - ・落語などの演芸会、講演会などの企画実行。
 - ・住民が楽しく参加できる、ユニークなイベントの企画実行。

詳しくは開発課地域政策係までお問い合わせください。 ☎ 68-3111 (内線312)

申請締切は3月31日

ふれ合い なごみ「秘湯塾」

三月十四、十五日とナカゴグリンパークをメイン会場に、「越後妻有郷・秘湯塾、ふれあい かくら&冬の味コース」川西町が開かれ、東京や千葉からの参加者二十六人が早春の川西町を楽しみました。

この企画は、十日町広域圏（十日町市・川西町・津南町・中里村・松代町・松の山町で構成）六市町村で組織している越後妻有観光協議会とJR東日本旅客鉄道（株）

タイアップして実施。平成七年度からスタートしたものです。

参加者は、スノーモービルで雪原に飛び出し、夜にはサンパレス脇の特設かまぐらで、地酒やそばに舌鼓。「鳥追い」の行事に参加するなどして楽しんでいました。

二日目は、松乃井酒造場を見学したあと、雪だるまづくりに挑戦。克雪センターでキネとウスでもちつきを体験したあと、郷土料理を

堪能していました。



雪だるま作りを楽しむ参加者

地域住民と学生が交流

三月二十一日、旧白倉小学校で、町の住民と長岡造形大学の学生が交流する「白倉自由学校」が開校。およそ八十人の住民と二十人の学生と一緒に縄とびをしたり、調査報告を聞いたりして、地域交流を図りました。

三年ほど前から白倉地区で、長岡造形大学文化財建造物保存研究クラブが、地域の意識調査や集落・民家調査を実施。学生も地域の伝統行事「もみじ引き」や「バイトウ」へ参加するなど、深いつながりが生まれ、今回、その集大成として「白倉自由大学」を開催することになりました。

まず、地域住民と学生と一緒に縄とびをしたあと、大白倉・小白倉の萱葺き屋根を調査し続けた太刀川正和さん（四年）が学生を代表して、両白倉の住宅一戸一戸について建築年代を調べた結果が報告されました。



「おもしろいぞ白倉」と題し、造形大4年の太刀川さんが発表

この地方特有の「中門造り」は、江戸時代後期の一八〇〇年ごろに建築されたもの。「間取りや差しものなどの有無によって建築年代が分かる」と報告していました。

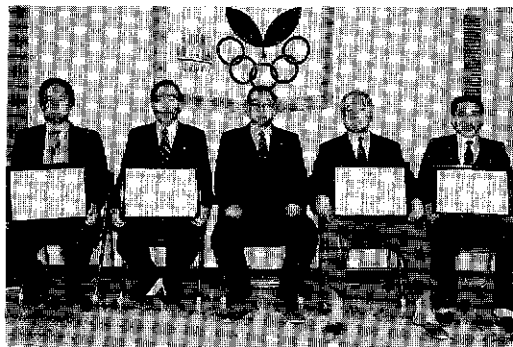
四人が県スポ少表彰

長年にわたり、町のスポーツ少年団指導者として尽力された四人の方に、県スポーツ少年団本部長から表彰状が送られました。指導歴が十年以上の方が基準となっています。

表彰された方は、次のとおりです。

（敬称略・順不同）

関口真人（柔道・神社町）
星名三彦（〃・学校町）
黒島利一（千手野球・伊友）
高橋幸司（〃・沖立）



右から、関口さん、星名さん、宮町スポ少本部長黒島さん、高橋さん

高橋さんBSNふるさとCM大賞を受賞

CM大賞を受賞

このほど、「第六回BSNふるさとCM大賞」が実施され、六十九作品の応募の中から高橋直人さん（赤谷）の製作した「来るなら赤谷、見るなら大木の本」が大賞を受賞。この催しは、新潟県内の市町村の特色などを的確に、しか

もユニークに表現し、市町村をPRしようという目的を持っています。

高橋さんは、第四回にも大賞を受賞しており、今回で二回目の受賞。また、かわにしビデオクラブとしては第五回にも会員が大賞を受賞しており、三連覇を達成したことになります。



高橋さんの作品は、県天然記念物である「赤谷十二神社の大ケヤキ」を題材に、四季の移り変わりとユーモアを交えた紹介をしています。

川西町への歩み²⁶

岩瀬金子幸作

合併に踏み切る

昭和三十一年六月五日、上野村役場で開かれた第三回合併促進委員会は、庁舎位置について上野村と橋村は「千手町に一任する」と譲歩し、千手町は「三か村の主張を十分考慮して決定する」と回答した。しかし、仙田村はこの案に同調しないまま散会している。

六月九日、上野村役場で第五回合併促進協議会が開催された。この日の議題は、①町名について、②新庁舎建築の位置と新築の時期について、③その他合併に関連する事項について、であった。各町村とも言いいたいことはたくさんあったが、町村合併促進法の期限切れがせまっていることから、小異を捨てて大同につく発言が交わされ、新町名と庁舎位置の問題を仙田村も千手町に一任し、合併の実現に踏み切ることにした。

もみにもんだ川西四か町村の合併問題はようやく妥結し、六月県議会の議決を経て、九月末までに新しい町の誕生が約束されたのである。

町名は川西町

六月十一日、最後の合併協議会

を開いて合併協定書に調印し、次いで、各町村は十二日に臨時議会を開き、四か町村の合併を満場一致で議決し、中越支庁の指導で合併協定書、新町建設計画等の準備に着手することになった。

新しい町の協定事項は次のとおりであった。

①町名は川西町とする。
②庁舎の位置は千手町に一任し、発足満一年以内に新しい庁舎を建築する。

③農業センターを上野に置く。
④支所を仙田村、橋村、上野村に置くが、上野支所は暫定的なものとする。

合併協定書に調印

当時の新聞の報ずるところを、参考までに次に掲げる。

中魚沼郡川西地区（千手町、上野村、橋村、仙田村）の合併協議会は十一日午前九時から上野村役場で四か町村長、同議長、合併委員ら約五十名が集まって開き、合併協議事項について討議、引き続

き午後三時から千手町役場で合併協定事項の調印式を行ない、十四日朝までに県へ書類を提出、六月県会へ提案することになった。

合併協定事項は九日に議決した五項目の基本事項のほか、九月一日を期して合併、川西町として新発足するほか、議会議員の数は七十名、教育委員四名、農業委員十六名とし、いずれも任期は一年。また、小・中学校の通学区分は当分の間現状通りとし、役場の一般職員は勤務年数に応じて新町に引き継ぐが、合併一年以内の退職者には特別な優遇措置を講ずるなど、十七項目にわたる協定事項を決めた。

なお、新町の首長選挙は九月一日から五十日以内に行われるが、農繁期を避けて九月中になる模様（昭和三一・六・一二新潟日報）

新町建設へ向けて

念願の合併が決まると、県は六月県会に提案してさつそく議決「中魚沼郡仙田村、千手町、橋村及び上野村を廃し、その区域をもって川西町を置き、昭和三十一年九月一日から施行する」と通告。新町を発足させる合併事務局が千手町公民館に置かれてにわかにあわだしくなった。

新町建設計画の策定が行なわれ、各項目別の建設計画がおよそ次のように決められた。

千手町

①建設中の小学校を昭和三十一年度中に完成する。
②小学校の屋内運動場にステージを新設する。
③中学校の敷地を買収する。

上野村

①小学校の老朽校舎を改築する。
②屋内運動場にステージを新設。
③中学校の屋内運動場を建築。

橋村

①小学校の校舎を増築する。
②小学校の屋内運動場にステージを新設する。
③新築中の中学校建設費の内、三百万円を新町で起債する。

仙田村

①村内各小学校の分校と雪中派出場を新築する。
②白倉校の屋内運動場を建築。
③仙田中学校の寄宿舎を建築。

消防関係

町一本の消防団に統合し、現在の各町村消防団をそのまま分団とする。千手町は消防自動車を購入したので、これを機会に常備制に移行するかどうかを研究する。

医療機関

千手診療所を病院に昇格し、橋村と仙田村の診療所を分院とする。千手診療所が病院に昇格できない場合はすべてプール制にする。

厚生施設

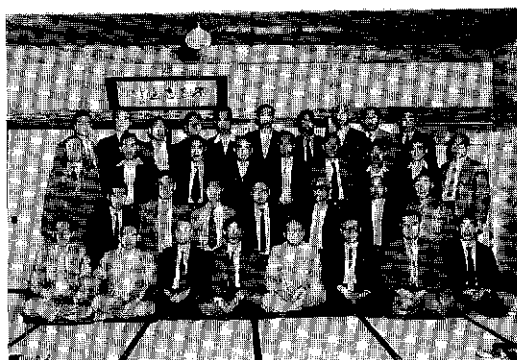
役場職員の職員寮を新設する。

土木関係

千手―伊友―小根岸―木落―原田を結ぶ川辺線と、長岡―犬伏線

を利用した山の手線を完備し、また、仙田村から千手町へ抜ける道路を新設して、これに接続させ、町内の環状自動車道路を完成する（以下略）。

引用「新潟県市町村合併誌」



合併の調印を終えて

千手の割烹^{かつばう}で写す

前列左から小海八太郎、高橋茂雄、押木利成、丸山恒正、押木仲治、山田喜雄、川崎勝平、高橋駒治、二列目左から金山良晃、北村基、田中久之、野沢秀保、滋野武祐、水品正一郎、根津浩、三列目左から増田哲男、内山常治郎、星名規矩三、蔵品茂雄、高橋勲吉、星名寅治郎、上村常助、上村辰栄、平沢徳松、四列目左から高橋友義、田口一男、田中与三郎、丸山豊太郎、長谷川福松、羽鳥朔市、清水準作、田口茂治、内山恵雄、小川政一の各氏。

お知らせコーナー

「緑の募金」活動にご協力を

毎年、四月一日から五月三十一日までの間、「緑の募金」活動が展開されています。

上野小学校では、自然を守り緑を大切にすること、仲間を大切にし勤労を尊ぶことを主なねらいとして、「緑の少年団」活動を実施しています。

四月十四日、午後三時から四時まで、子供たちが次の場所で「緑の募金」活動を実施します。ご協力をお願いいたします。

・役場前

臨時福祉特別給付金の給付について

平成10年度所得税等の特別減税に伴い、「該当する給付金」を該当者からの申請書に基づいて、4月末日に指定口座に振り込みます。ご確認ください。

お問い合わせは役場福祉課高齢福祉係(☎68-3111)へ。

平成10年度の

福祉タクシー利用券を交付します

- ◆対象者 ①身障手帳1～3級をお持ちの方。ただし、3級は下肢及び体幹障害の方のみ。
②療育手帳Aをお持ちの方。

◆交付日 4月1日から

◆交付場所 福祉課 社会福祉係

※身障(療育)手帳、印鑑をご持参ください。

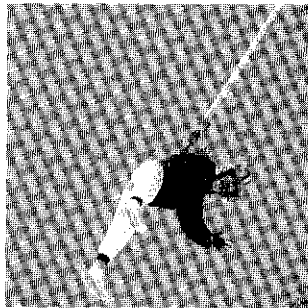


募金活動をする上野緑少団(去年)

- ・総合体育館前
- ・JA川西農協千手支所前
- ・" " 橋支所前
- ・" " 仙田支所前
- ・上野郵便局前
- ・仙田郵便局前

カメラさんぽ

(3月7日～8日・かわにし雪まつりから)



▲大空で遊泳。逆バンジージャンプ

▶前夜祭の恒例になったダンス甲子園。8チームが参加



▶オリンピック年にちなんで、聖火の入場



▶雪上ソフトバレーボール大会では、18チームが激戦を繰り広げました



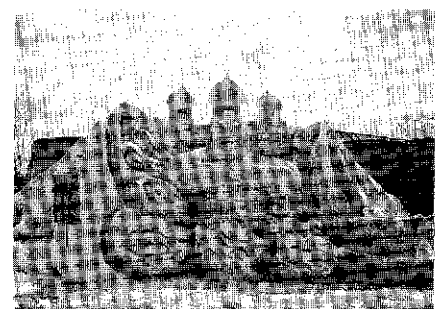
▲羽根けえし世界選手権大会。羽根を落とすと顔にシミをぬられるおまけつき



▲犬ぞりの体験コーナーもありました



▶10人1脚レース。小学生の部で優勝した仙田小チーム



▲雪像コンテストで最優秀となったあかね園の「のぞみなえたまえ」の作品

善意

(敬称略)

町政の一助に

齊木利正 (東京高倉会) 三万円
檀社に

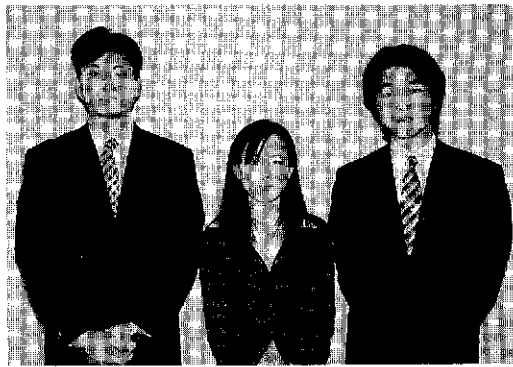
数藤 剛 (東京都) 十万円
広報発行に

丸山 伴四郎 (足立区) 三万円
ダイヤパレス苗場

管理事務所 (湯沢町) 一万円

お世話になります 役場のニューフェイス

四月一日付けで事務職三人を採用しました。写真右から、総務課財政係 村越広太郎 (野口)、福祉課高齢福祉係 星名恵美子 (発電所通り西)、教育委員会学校教育係 高橋秀彰 (十日町市) です。よろしく願います。



かわいし 俳壇

高崎正風選

ふきのとう香り散らして朝の汁

山野田 藤田ひろ志

麗かや動き出そうな仏達

霜条 大海 白濁

あきまだき春を呼ぶかに雨の音

田中町 石沢 澄代

人影に付いて廻れる春灯し

霜条 星名 星光

つるばらの紅き芽吹きに春の雨

岩瀬 登坂伊智子

活けられて色づきそめし猫柳

根深 丸山 朝子

薪切らずなりし裏山斑雪

小白倉 田中 優美

しんがりを待つ渡し舟春うらら

練馬区 須藤 遊人

立つ我を囲みて山の笑いおり

赤谷 小林 哲

北国に春の日差の空の色

元町 田畑 吉治

沈丁花よく匂いくる佛間かな

新町新田 若山 向山

芝桜土手一面に広がって

四郎兼 平野 恵春

霜に耐え雪に耐え咲く水仙花

浦和市 登坂 博史

春風やそれぞれ帰る西東

野口 五十嵐トラ

休耕の続く田圃に芹を摘む

大倉 中条 石平

丹沢の白き峰にも春気配

相模原市 佐藤 周三

水ばしうまつり待つ里尺の雪

野口 村越 由喜

指を染め春摘むごとくよもぎ摘む

綾瀬市 野沢ますえ

庭のほこべおひたしにして夕餉かな

犬ふぐり残して庭の草を取る

休日救急医

4月12日	川西町診療所 (高原田)	☎ 68-2034
"	上村病院 (中里村)	☎ 63-2111
19日	至誠堂医院 (西浦町)	☎ 52-3276
26日	山口医院 (袋町)	☎ 52-2174
29日	大熊内科医院 (山本町)	☎ 52-7066
5月3日	大坪医院 (四日町)	☎ 57-6100
4日	第二藤巻医院 (上野)	☎ 68-2018
5日	庭野医院 (寿町)	☎ 52-2711
10日	山口医院 (下条)	☎ 55-2003

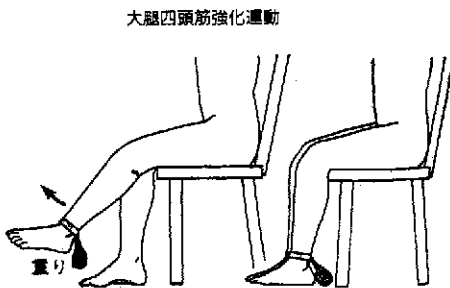
変形性膝関節症

日常生活の工夫

住民検診で自覚症状をお聞きすると、膝痛のある方が多くいらつしやいます。

変形性膝関節症は、老化現象により、軟骨や骨がすりへったり、骨のとげが出てきたりして、関節が変形する病気です。歩きはじめや階段の昇り降りに痛んだり、膝関節の腫れや動きが悪くなったり、関節液がたまったりします。

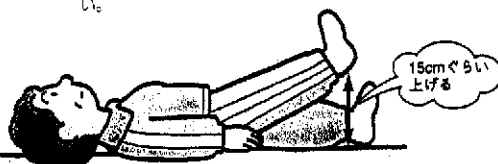
進行を防ぐためには、日常生活で、膝関節に負担がかからないようにすることが大切です。体重を増やさないようにすること、無理な運動をしないことが肝心です。そして、ふとももの筋肉(大腿四頭筋)の筋力を強くすると、膝への負担が軽くなります。図のよ



足首に適当な重さのものをぶらさけて、その重みに打ちかってひざを完全に伸展する運動をくり返す

筋肉の運動

変形性膝関節症に対する治療のポイントは、ふとももの筋肉(大腿四頭筋)の筋力を強くすることにあります。方法としては、仰向けになった状態で、なるべく膝を伸ばして、つま先は上を向けます。そしてこの状態から、かかとを床から15cmほどあげてください。この状態で5〜7秒間静止します。この運動を1度に10回づつ、1日2度朝晩、先生の指示に従って行ってください。



戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

内山 千斗 66 (敏雄) 新町新田
貴田 喜平 70 (勝行) 発電所
田中 正義 71 (正義) 小白倉
小野塚友吉 72 (友吉) 田中町
水落 達一 79 (牧男) 仁田
清水 ハナ 86 (忠雄) 発電所
中条 増栄 92 (与之助) 大倉

うぶ声—おすこやかに

根津 悠菜 則幸 南台
綾子

たかさご—ご円満に

佐藤 賢 発電所通り東
植木 菜穂子 十日町市から
佐久間 貴之 発電所通り東
庭野 千津子 十日町市
横山 敬 中央町
高橋 君江 中里村から
(3月1日—31日届け出分)

表紙の写真

三月七日、八日と第十二回かわにし雪まつりが総合体育館協設会場で開催され、延べ三千人が多彩なイベントを楽しみました。

七日の前夜祭では、おなじみになった小学生によるダンス甲子園や大抽選会で楽しみ、雪原に広がった炎の「心」の文字の演出は、別の時限へいざなってくれました。

八日は、新しい催しの〇×サイコロ勝ち負けゲーム「かわにし版これができたなら?万円」や、「10人11脚レース」が実施され、大変な盛況ぶりでした。

恒例になった「雪像コンテスト」では、あかね園 クリニック川西 職員の「のぞみなえたまえ」が最優秀賞に輝きました。

裏方で頑張ってくれた多くの皆さん、本当にご苦勞様でした。

ちいさな展覧会

116



▲「野球」
4年生 丸山秀基 くん



▲「いもほり」
3年生 金子喜由 くん



▲「宇宙旅行」
4年生 高橋拓朗 くん



▶「きょうりゅうとおさんぽ」
2年生 小海菜奈 さん

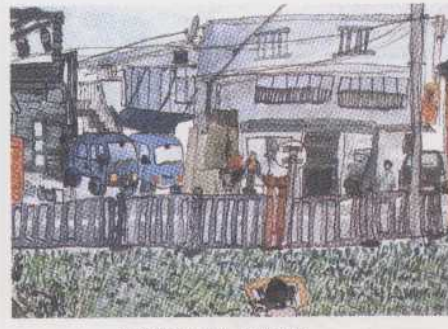
▶「ストップ自然はかい」
5年生 蔵品茉耶 さん



▲「あなの中を見たら」
1年生 おしきゆうき くん



▲「色づく上野の山」
5年生 桐生さゆり さん



▲「学校からの風景」
6年生 小柳可菜子 さん

上野小学校

※ 学年は3月当時のものです。

(5月号は橘小学校です)